

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(大阪府)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『大阪城と文楽』



○大阪城と文楽をデザインしています。

※大阪城：大阪府の中央に位置し、年間入場者数約 155 万人（平成 25 年度）を誇る大阪のシンボル。日本三名城の一つに数えられ、1931 年（昭和 6 年）に復興された天守は、1997 年（平成 9 年）、国の登録有形文化財に登録されている。

※文楽：日本を代表する伝統芸能の一つである「人形浄瑠璃」で、太夫（語り）・三味線・人形が一体となった総合芸術である。2008 年（平成 20 年）にユネスコの無形文化遺産に登録されている。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『仁徳天皇陵古墳』



○仁徳天皇陵古墳をデザインしています。

※仁徳天皇陵古墳：4 世紀後半から 5 世紀につくられた、大阪府堺市に広がる百舌鳥古墳群を代表する日本最大の前方後円墳。仁徳天皇陵とされている。墳丘長は 486m、墳丘の周囲を取り囲む三重の濠を含めた全長は 840m にわたり、エジプトのピラミッドや中国の秦の始皇帝陵と並ぶ、世界最大級の墓である。百舌鳥古墳群は、堺市の東に位置する羽曳野市・藤井寺市に広がる古市古墳群と共に、2010 年（平成 22 年）に世界遺産暫定一覧表に記載された。

(大阪府作成資料より)